

-Index-

音楽の指導（小学部の取り組み②）  
チャレンジ！発音指導 ⑬  
近畿教育オーディオロジー研究協議会「冬の学習会」  
みみよりコラム



## 音楽の指導（小学部の取り組み②）

前号では、本校小学部での歌唱の指導方法について掲載しました。今号では、器楽や鑑賞の指導方法について、ご紹介いたします。

### 器楽

器楽の学習では、様々な楽器の練習に取り組んでいます。

<鍵盤ハーモニカ>

息を長く吐いたり短く切ったりして演奏します。息を吹きこむと、振動や音が指などから伝わるので、楽しんで演奏している児童が多い印象があります。

<リコーダー>

リコーダーは、運指を覚えて、正しく穴をふさぐことが大切です。穴がふさがっていないことに気づきにくい児童については、声かけをしたり、補助したりして、正しい音を吹くことができるように促しています。

魚の目パッドをリコーダーに貼ると、穴をふさぎやすいと感じる児童もいるようです！



<打楽器>

体に振動が響き渡りやすい打楽器は、子どもたちにも大人気です。リズムづくりを通して好きなリズムを刻んだり、楽譜を使って合奏したりすることもあります。音楽の授業ではありませんが、本校寄宿舎「たつの子サークル」の和太鼓演奏も圧巻です！



本校 HP より引用

### 鑑賞

鑑賞の学習では、友だちの演奏をきいたり、プロの演奏者の様子を鑑賞したりしています。音楽の授業で練習を重ね、グループごとに発表しあったり、学習参観や児童朝礼などで披露したりすることもあります。音の変化をきいたり、振動を感じたりして、鑑賞を楽しむ様子が見られます。

また、日本センチュリー交響楽団やマリimba・カンパニーの皆さんにお越しいただき、プロの楽器演奏を鑑賞することもあります。ヴァイオリンやフルート、ホルン、ファゴット、いろいろな打楽器など、普段ふれる機会の少ない珍しい楽器の音や響きを感じることが出来ます。

### オンテナ

本校では富士通様より寄贈していただいた「Ontenna(オンテナ)」を用いて、音の大きさやリズムを感じる学習を取り入れています。はじめはオンテナの振動を感じ、「くすぐったい！」と言う児童もいますが、自分が演奏している楽器の音を拾って震えたり、教員が示すリズムを振動で感じたりすることで、より音楽を楽しんでいる様子が見られます。



## チャレンジ！発音指導 ⑬

### イ音

今号では、イ音の発音指導について、ご紹介いたします。

口は、唇を左右に引きすぎず、歯は噛みしめない程度にし、中舌部を硬口蓋に向かって持ち上げます。持ち上げすぎて接触してしまうと摩擦の音ができ、「ヒ」や「シ」になってしまいます。

#### イをウと誤る場合

舌面と口蓋との狭窄箇所が奥まってしまうために、起こります。図などを用いて視覚的に舌の位置を確認することが大切です。

#### 「イ」を「エ」と誤る場合

舌の位置が合っていたとしても、開口度が広くなりすぎることがあります。指導者の口形を見せ、鏡を使って、自分の口形との違いを意識させます。



ここまで、母音についてお話してきました。他の音を練習していくにも、まずは、母音が明確に発音できるようにならなければいけません。

他者が聴覚的にきいて、ききとれるかどうかは、口唇の開きや舌の位置が正しいかどうかにかかってきます。定期的に確認しながら、繰り返し練習していくことが大切です。

近畿教育オーディオロジー研究協議会

オンデマンド配信  
YouTube による限定公開

## 令和4年度「冬の学習会」

2023年(令和5年)1月28日(土)～2月5日(日)

講師：内藤 泰 先生

(神戸市医療センター中央市民病院 耳鼻咽喉科参事・総合聴覚センター長)

テーマ：こどもの難聴と人工内耳 — 総合聴覚センターの取り組み —

### — 講演要旨 —

こどもの難聴には、医療だけでなく、教育、福祉との連携など、様々な方向から複合的に取り組む必要があります。特に、重度難聴児に有効な聴覚補償を提供する人工内耳は、こどもたちが成人し、さらに高齢者になるまで使用し続ける機器であり、難聴児への医療と支援は新生児期から後期高齢期に至るまで一生を見通す視点が必要です。今回の講演では当センターが取り組む難聴児、難聴者への医療と支援についていろいろな角度からお話させていただきます。



<受講費用> 会員は無料(会員外は1,000円)

<視聴方法> 講義については、事前録画した動画(字幕付与)を一定期間、配信いたします。

<配付資料> 申し込まれた方を対象に、配付資料を限定公開いたします。

詳細については、代表委員もしくは事務局からご案内いたします。

案内等が届かない場合には、近畿教育オーディオロジー研究協議会事務局までご連絡ください。

<質疑応答> 後日配付予定の質問アンケート(2月6日締切)をご利用ください。

寄せられた質問については、オンデマンド配信終了後、講師よりご回答いただきます。質疑応答の内容については、2月下旬頃に、近畿教育オーディオロジー研究協議会ホームページにて公開します。

<留意事項> 情報保護の観点から、動画の録画・ダウンロード等は一切不可とさせていただきます。

ご利用いただく通信環境等によっては、視聴できない可能性があります。

十分にご確認のうえ、ご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。

<申込方法>

- 近畿教育オーディオロジー研究協議会のホームページから参加申込フォームにアクセスできます。

(<https://www.normanet.ne.jp/~kinki/>)

- 右のQRコードにて、参加申込フォームに直接アクセスすることも可能です。
- 視聴方法について、ご確認のうえお申し込み下さい。
- 視聴に関するご質問等がありましたら、近畿教育オーディオロジー研究協議会事務局まで、ご連絡ください。

申込締切  
1/6(金)



近畿教育オーディオロジー研究協議会事務局 (E-mail:kinkieaa@gmail.com)

### みみより★コラム

最近、ドラマ「silent」が話題になっています。本校でも、ドラマを観ている子どもたちがたくさんいます。中学生に「silentを観て、どう感じる？」と尋ねると、「私は生まれつきだから大丈夫だけど、高校生になってからきこえなくなるのは辛いんだろうな…って思う。」「手話がうまい!」「ストーリーの展開がうまく進み過ぎだと思う。」など、様々な反応があります。また「日本手話だから、分からない部分がある。」などの声も多いです。普段、手話でコミュニケーションを図っている生徒も、自分たちと異なる手話表現に注目している様子です。それぞれの感じ方があるようですが、聴覚障がいについての理解が広がるきっかけになれば良いかと思えます。

「みみネット」編集部：

大阪府立中央聴覚支援学校 聴覚支援センター 担当：中咲、金森  
〒540-0005 大阪市中央区上町1-19-31  
TEL. 06-6761-1419 FAX. 06-6762-1800